



問合せ先

教育委員会社会教育係 ☎579・5801

# 『報徳のおしえ』とともに

令和3年度「報徳のおしえ」講演会《中桐万里子氏講演》

## 講演テーマ「報徳」からはじまる豊かな未来創造へ〈その5〉

「前号の続き」いざ復興が始まる。今度と同じように村人たちにも金次郎は尋ねました。

農民の頭たちの腹が決まり、覚悟が決まった。そして、農業を営む正に金次郎にとつての仲間たち、その村人たちにもまた訊ねたのです。

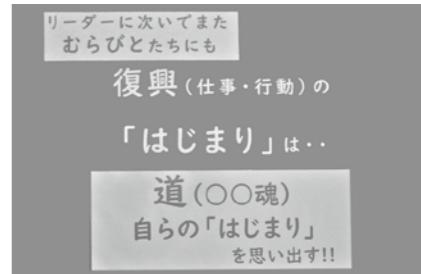
「あなたはなに困っていて、そしてあなたは何を望んでいるのか。あなたはどのようなことを望んでいるのか」と、その時の答えは、頭たちと同じようなものでした。「先ごろの台風のせいだ。いや夏が来なくて暑さが来なくなり、作物が実らないのだ。いや雨が降らないからだ。いや雨が降りすぎるからだ。いやいや家の土地は、代々全く地質が悪い、土地が悪いからだ。条件が悪いからだ。」みんなはそう言っていて、あれが悪い、これが悪い。だから上手くいかないよそんなふう

に言ったのです。金次郎が生活をしていた場所もそうでした。冷夏という長く続く夏の寒さ、そのことで米が全然実らなくなった。みんなは、農作業への意欲を失っていたわけです。そんなとき、彼は同じように言います。

「いやいやもう一度考えて欲しい。農業人っていったい何をやるのか、農業人って本来どんな受け継いだ力を持って

いるのか考えてみようじゃないか」と、「私たちはお米を作っているのではない。芋を作っているのではない。そうじゃない、命を繋ぐ歴史をつくっている。人々が生きていくことに直接かかわる物凄く尊いものをつくっている。そうやって生まれたのが、農業という仕事だったのではないのか。農業という営みが生まれる前は狩猟社会。正に明日食べられるかどうかは、狩猟ができるかどうかの違いだった。でも、そうじゃなくて安定的に職を得ていく。あるいは安定的に暮らしていく。そのために私たちは定住を始め、農業を始め、毎日汗をかくようになった。しかしそれは、命と直接つながるそのものを生み出していかうとした。そんなところに『はじまり』があったのではないだろうか。正に農業者の受け継いだ力はどこにあるのか。農業者魂はどこにあるのか。農業道ってどこにあるのか。私たちは本当に何をしようとしているのか。何をしようとしているのか。どうあるうとしていいのか。そのことをもう一度考えようじゃないか」と。

「正に『はじまり』を思い出せるかどうか。つまり私たちは『草履屋』だと考えるのか。私たちは、『履き物屋』だと考えるのかで、まったく次の行動が変わってくる。あるいは、次の一歩を踏み出せるかどうかが変わってくる。ここはまず『米を作っていたのだ』と言うことにこだわること、ここは『命を支える食物を作っている場所なのだ』と捉えるのか。そのことにより、次に進めるか、そこで終わるのか、そんな違いが出てくるのかもしれない。そんなふうにならぬように、田んぼが作れないなら畑を作ればいいじゃないか。水分がないというなら、それにふさわしい作物を作ればいいじゃないか。金次郎は、何かこの場所のできることはないか、そして私たちの本望の願いは何なのか。それを思い出して、農業者たちの誇りを思い出そうじゃないか。私たちは、日々汗をかいている。そのことにどんな意味があるのかを思い出すが、大事なのではないのか。そのことを呼び掛けたわけです。



「あなたのお切った石で教会を建てようと思っ

はつと気づきます。「ただ奴隷がしている作業なんかじゃなくて、自分は誇らしい仕事をしているのだ。価値のある仕事をしているのだ」と、そして、その人はさらに知ることになる。

「いやいや実は、その教会はものすごく大事な教会だから、是非、あなたが切った石が欲しい。あなたが手掛けた石が欲しいのだ。それで依頼しているのだ」と、もしあなたがその人に言われたらどうでしょうか。奴隷にさせられているどころか、自らの命の時間を使うにふさわしい、使命だと感じられるようになるかもしれない。《次号へつづく》

旧二宮小学校は平成15年に「豊頃町二宮報徳館」として生まれ変わりました。現在では郷土資料を含めた、貴重な二宮尊親の資料を所蔵・展示しています。

# 二宮尊親の村づくり 豊頃町二宮報徳館

教育委員会社会教育係 ☎579・5801



実寸大の二宮尊徳像



左から、ウシシュベツ農場員名札・移民団 幟旗



尊親が愛用したコート



金次郎像

社会教育の推進と地域社会の生活文化の向上を図るため、二宮報徳館は設置されました。豊頃町の郷土資料をはじめ、入植した当時の地図、尊親が愛用していたコートなどが展示されています。中でも「報徳分度論」「尊親の手控え帖」や尊親直筆の「報徳訓掛け軸」などから、「報徳のおしえ」が開拓当時から大切なおしえであることをうかがい知ることができます。この報徳館を紹介するリーフレットは教育委員会や図書館にありますので、ご自由にお持ち帰りください。



報徳館内部の様子

二宮報徳館を見学される際は、豊頃町教育委員会(579・5801)にお問い合わせください。

豊頃町二宮報徳館(旧二宮小学校) 豊頃町二宮2460番地 ☎574・3126 開館 4月~11月まで 休館日 不定期